

9月と11月、洞爺湖有珠山ジオパークとアポイ岳ジオパーク（様似町）の小学生交流事業が開催されました。小学生がお互いのジオパークを訪問し、一緒に学び合う機会になりました。

(主催：北海道胆振総合振興局、北海道日高振興局)



洞爺湖有珠山 ⇄ アポイ岳 小学生ジオパーク学習交流事業



ジオピザ作りに挑戦！
みんなでおいしく食べました！

9月10(土)・11日(日)

アポイ岳 ⇒ 洞爺湖有珠山

様似町から9名の小学生がやってきました！
お迎えしたのは洞爺湖有珠山ジオパークに住む12名の小学生です。

始めは少し緊張していたものの、「ジオピザづくり」(洞爺財田自然体験ハウス)、「有珠山ロープウェイ」のガイドツアー等、火山と火山の恵みを一緒に楽しむうちに、すっかり仲よくなりました！

「山って動くの!?」
有珠山の火山活動に興味しんしん。



11月12(土)・13日(日)

洞爺湖有珠山 ⇒ アポイ岳

伊達市・壮瞥町・洞爺湖町から13名の小学生が様似町を訪問しました！

アポイ岳ジオパークの見どころを巡るスタンブラリー、緑色の「かんらん岩」でキーホルダー作りにも挑戦し、お互いの地域で大地の物語を楽しみました。

アポイ岳ビジターセンターでは、アポイ岳の成立ちを学びました！



ものしいジオパーク！

「かんらん岩」って？

オリーブの実のような美しい緑の石「橄欖(かんらん)岩」。まだ人間が到達できない、地下数十kmにあるマントルという部分の岩で、めったに地表に出てくることは

ありません。アポイ岳は、地球規模の変動によって地表にでてきたマントルの一部。この特殊な地質条件が、アポイ岳の多様な高山植物や固有種を育てています。